

浄土ヶ浜の清掃と復興祈念鯉のぼり掲揚事業の応援ツアー

支援ツアー実施経緯と報告

滋賀県高月町雨森地区では、毎年5月3日に「雨森こいのぼりまつり」を開催している。高月町内を流れる高時川沿いに、全長50mの鯉のぼりがクレーン車で揚げられ、既に揚げられている色鮮やかな大小約500匹とともに風に泳ぐ様はなかなか壮観だと聞きます。

この全長50mの鯉のぼりを宮古湾の上空にクレーン車で上げて市民に元気と希望をとの趣旨から、当会の大久保副会長を通じてこの復興支援事業への協力要請がありました。(5月2日)

当会も、この大震災による被災地支援事業を考えていた矢先であったことから、急な要請でしたが、三役で協議してこの事業への協力を決め、浄土ヶ浜の清掃活動も加え募集要項を作成して、会員に参加を募りました。(5月6日)



急な募集にも関わらず、予想以上の25名の参加申込があり、5月11日(水)の実施に至りました。

当日は、最初の出発地一関から途中、各インターチェンジで乗車、盛岡事務所を經由し、浄土ヶ浜に向かいました。11時前に、浄土ヶ浜に到着、直ちに観光船乗り場付近の遊歩道に散乱する瓦礫の後片付けを行いました。その後、復興祈念鯉のぼり掲揚事業のセレモニー会場の宮古藤原埠頭に到着、その瞬間に目にした埠頭に横たわる50mの巨大な鯉のぼりの様には仰天、予想を遥かに超えるその大きさに驚き！晴天の中、セレモニーが行われ、当会会長代理で佐藤副会長も歓迎と激励の言葉を述べられました。

ダグボートからの合図で、いよいよ大型クレーンで巨大鯉のぼりの引き上げスタート。集まった小さなお子さんから大人まで全員が晴天の空を見上げる中、その巨大な鯉のぼりはどんどん天高く揚げられ、会場は、見上げる全員からの大歓声と大きな拍手で埋まりました。まさに、感動、感激！の瞬間でした。

その後、巨大鯉のぼりは、大型クレーン船に引かれ、晴天の宮古湾上空をゆうゆう泳ぎまわっていました。

帰路は、宮古から山田、大槌、釜石地区の被災地、遠野、盛岡を經由して出発地一関に戻り終了しました。

参加いただいた会員の皆様には、急な計画にも関わらず御協力いただきまして誠にありがとうございました。感謝申し上げます。また、この支援事業の趣旨にも存分触れて感じていただけたことと思っています。今後も、社会貢献等に関わる類似事業の継続を重ねて参りたいと考えます。その際には今回同様、是非ご協力をお願い申し上げ報告とします。



出席：県南観光(1)・北都交通トラベル(1)・水沢ツーリストサービス(4)・新日本観光バス(2)

京成観光(1)・北上交通観光(1)・東北友愛観光(3)・花巻観光バス(6)・岩手県教互センター(2)

I G Rいわて銀河鉄道(1)・いわて銀河ツーリスト(1)・事務局(2) 総出席者数(25)